

## お知らせ

令和7年分の確定申告の受付は2月16日(月)から3月16日(月)までです。期限内に提出できるように早めに御準備を。

## 岩沢通信

第85号

2018年5月25日創刊  
発行 岩沢アチコタネーゼ・岩沢福祉会  
岩沢地域振興協議会・岩沢分館  
編集 石曾根徹(地域づくり支援員)

岩沢地域振興協議会  
会長 長谷川 正夫

## 年頭のご挨拶



新年明けましておめでとうございます。皆さまには健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。連日の雪かき、排雪、雪降し作業で大変な日々をお過ごしと思います。みんなで協力し合いこの降雪期を乗り越えましょう。最近、横文字を使つた訳の分からぬ言葉やネット情報などの氾濫する社会現象が起きていています。お年寄りが会話についていけないことが多いなっています。多くの情報が交差する社会、私たちも「何が真実か」、「裏に何が隠されているか」、「核実心は何か」見極める目を磨かねばならないと思うところです。くれぐれも「うまい話」には気を付けましょう。

今年も、住みよい岩沢の郷土愛を生かした「地域振興」を目指し、みんなが知恵を出し合い、「岩沢で暮らしていく良かった」と思える地域にしていきたいと思っておりまます。皆様のご協力ををお願いいたします。本年も健康で充実した良き年になりますようお祈りいたします。



岩沢アチコタネーゼ  
代表 駒井 和彦

## 年頭挨拶

新年あけましておめでとうございます。これまで農家レストラン「より処山紫」の運営や学生インターの受け入れ、都市交流事業(田植え・稻刈り体験)、有償除雪ボランティア、収穫祭や朝市の開催、他イベント出店等、多岐に渡る活動を続けて参りました。その根底にあるのは常に「人が関わり、地域が動く」という信念です。今年は午(うま)年。馬が駆けるが如く、前へ前へと力強く突き進む一年にしたいと考えております。人口減少は避けられない現実ですが、だからこそ「人は減つても、豊かで活力ある岩沢」を形にする為の挑戦を止めません。現場で汲み取った皆様の切実な声を、市議会議員としても、市政へと繋ぐ役割を全うして参る所存です。



## 岩沢地域振興協議会新年会

豪雪期とは思えない穏やかな日差しの岩沢。1月18日(日)住民センターを会場として、岩沢地域振興協議会の新年会が評議委員を対象に盛大に開催された。



## 岩沢商工業会新年会

1月10日(土)桜町の大竹会館を会場として岩沢商工業会は脱皮から飛躍の年。今年はJFAアンダリの経営破綻や厚生年金問題が小千谷市にとつて連小千谷総合病院の経営危機が、昨年の総会にて、再び代表の任を預かる事となりました。

これまで農家レストラン「より処山紫」の運営や学生インターの受け入れ、都市交流事業(田植え・稻刈り体験)、有償除雪ボランティア、収穫祭や朝市の開催、他イベント出店等、多岐に渡る活動を続けて参りました。その根底にあるのは常に「人が関わり、地域が動く」という信念です。今年は午(うま)年。馬が駆けるが如く、前へ前へと力強く突き進む一年にしたいと考えております。人口減少は避けられない現実ですが、だからこそ「人は減つても、豊かで活力ある岩沢」を形にする為の挑戦を止めません。現場で汲み取った皆様の切実な声を、市議会議員としても、市政へと繋ぐ役割を全うして参る所存です。

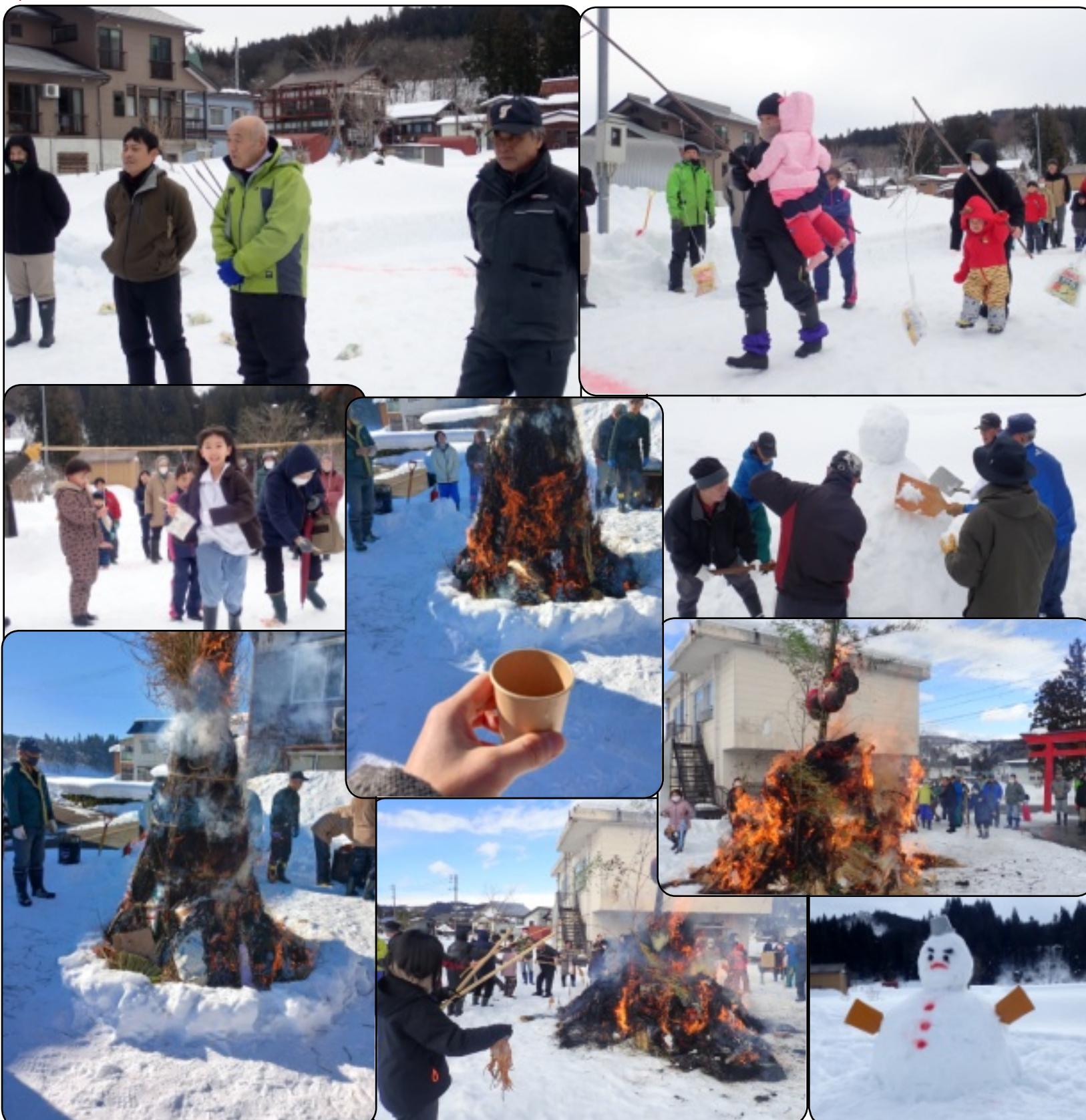


岩沢地域振興協議会新年会は「小千谷市にいる岩沢地域振興協議会の運営にご理解とご協力を、心からお願い申し上げます。」といふと挨拶。来賓の宮崎悦男小千谷市長からも「小千谷市には様々な課題がありますが、地域の確保や公共事業に取り組んでいます。その後、顧問の駒井が参ります」と力強い言葉がありました。

和彦小千谷市議の挨拶と乾杯で新年会がスタート。今年は委員の身内に不幸があるなどして、例年に比べて少ない参加者とはなつたが、それぞれ酒を酌み交わし懇親を深めた。



# 各町内(地区)にてさいの神が行われる



1月11日(日)小正月の行事である「さいの神」が各町内や隣組単位で開催された。天氣予報では大雪や強風の懸念があつたが、役員の願いが通じたのか、時より強い風が吹く程度でますますの開催日となつた。

桂町内では五由里神社境内において、約80人を集めてさいの神の前に雪上リクリエーション大会を開催。「お菓子釣りレース」や「パン掴みレース」などに老若男女が参加し、多くの賞品を持ち帰つた。また初めての企画として、雪だるまコンテストを開

催。二組に別れて、コスギを使った雪だるま作りに、大人も子どもも真剣に取り組んだ。午前11時、境内に組まれた塔に厄年の年男と年女たちが点火すると周りは熱い炎に包まれ、炎が落ち着くと参加者は一斉に竹竿の先に付けたスルメを焼いて食べたり、家に持ち帰り、今年一年の無病息災、五穀豊穣を願つた。

他にも山谷の隣組や市ノ口でさいの神やどんど焼きが行われ、岩沢地区は今年一年の家内安全や平穏無事を祈る行事に包まれた。

編集後記

# 令和8年(2026年)カレンダー交換会を開催

家庭や職場で使用しない令和8年のカレンダーを集めて、必要な方と交換するカレンダー交換会が1月10日(土)午前9時から午後3時まで、本町「ホント力。」にて開催された。

岩沢地域から提供されたカレンダーも並べられ、開館直後には多くの参加者が駆けつけ会場は大賑わい。例年好評の大判のビジネス手帳や日めくりカレンダーは早々に無くなり、午後から来た人は残念がっていた。当日は約200人の参加者があり、午後3時終了時には用意したカレンダー数十部を残すのみ。その後12日まで自由に持ち帰りとしたところ、残りも全て引き取られていった。

交換会は「絵紙と小千谷のひいな祭り」のイベントとして組み込まれ、今年は昨年と日程を変更し3月28日から4月5日までの開催とした。会場もサンプラザをメイン会場として市内各地で絵紙の展示や着物ショー、みんなうざの出演が予定されている。詳しくはホームページやポスター、チラシなどを見て欲しいとのこと。

